

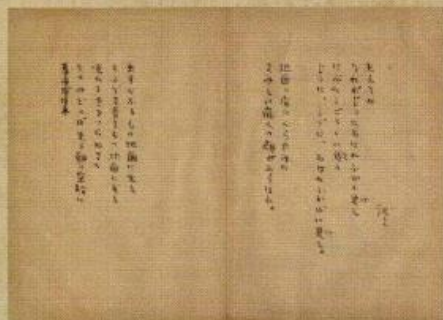


# 永遠の漂泊者—萩原朔太郎

詩人・萩原朔太郎（明治19年～昭和17年）は、第一詩集『月に吠える』（大正6年）、第二詩集『青猫』（大正12年）において、近代人の病的な憂鬱・寂寥感を、音楽性に富む口語によって表現し、近代詩に新しい地平を拓きました。晩年の詩集『氷島』（昭和9年）には、漢語を多用した独自の文語スタイルにより、虚無、漂泊などの感情が表出されています。朔太郎の詩は同時代のみならず、後世の詩壇にも大きな影響を与えました。

また、朔太郎は多彩な趣味を持ち、青春時代に学んだマンドリンによって、郷里の群馬県前橋で楽団「ゴンドラ洋楽会」を結成し、演奏、指揮、作曲などを試みています。写真、デザインなどの才能にも並々ならぬものがありました。朔太郎にとって趣味は、文学的表現にも関わる大切なものであったと考えられます。

没後80年にあたる本年、朔太郎を介した企画展「萩原朔太郎大全2022」が全国52か所の文学館や美術館、大学施設にて開催されます。本展では、その一環として、朔太郎の生涯と詩の世界を、自筆原稿やノート、書簡、楽器、撮影写真などとともに紹介します。



①

②



③



④



⑤



⑥

写真①大正13年（1924）の朔太郎、②萩原朔太郎自筆原稿「題名なし（地面の底の病気の顔）／題名なし（竹）」、③詩集『月に吠える』（初版本、展示は復刻版）、④恩地孝四郎 木版画「『氷島』の著者（萩原朔太郎像）」、⑤田中恭吉 画「冬の夕」（『月に吠える』挿絵の原画）、⑥萩原朔太郎が娘・葉子に買い与えたマンドリン

写真提供全て：萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち前橋文学館

**ギャラリートーク（要入館料）**

- ①10月1日（土）
- ②10月16日（日）
- ③10月23日（日）
- ④11月1日（火）朔太郎誕生日

※各回14時～（20分程度）

## 関連行事

申込不要  
無料

サンクリスタル高松30周年記念事業  
高松市中央図書館ボランティア養成講座共催事業  
**講演会「朔太郎の詩に現れる白色の謎」**  
10月10日（月・祝）13:30～15:00  
講師：萩原朔美（前橋文学館館長、映像作家）



**音楽コンサート「萩原朔太郎の音楽～朔太郎の愛したマンドリンの調べとともに～」**  
10月15日（土）13:30～14:30  
演奏者：マンドリン…宮武省吾、バリトン…大山晃、ピアノ…大山まゆみ  
※上記すべて、会場：3階視聴覚ホール、先着80名

**朗読会「猫町を読む」**  
10月16日（日）13:30～14:00  
出演：高松市中央図書館司書  
会場：4階企画展示室前ロビー、先着20名

**萩原朔太郎大全2022 県内参加館御案内**  
坂出市万葉会館 10月1日～10月30日（土日祝のみ）  
壺井栄文学館 10月1日～1月10日  
※詳細は各館ホームページを御覧ください

※すべての行事は新型コロナウイルス感染症の状況により、変更となる場合があります

### 「まんて香川きつきょん!」 ～菊池寛作品朗読特集～

### 菊池寛記念館特別講演会 「くちきかんと菊池寛」

9月26日（月）  
16:05～17:58  
放送：NHKラジオ第一放送  
高松 1368kHz  
観音寺 1584kHz

※放送日時は変更する場合があります

11月19日（土）  
16:00開演  
18:00終演予定  
講師：下重暁子（作家）  
会場：かがわ国際会議場  
入場料：無料（要申込）  
先着300名  
※詳細はホームページを御覧ください



**菊池寛記念館**  
Kikuchi Kan Memorial Museum

Tel.087-861-4502  
Fax.087-837-9114

香川県高松市昭和町一丁目2番20号サンクリスタル高松3階（1-2階 / 高松市中央図書館、4階 / 高松市歴史資料館）

- \* JR高徳線昭和町駅下車、徒歩3分
- \* こことでんバス昭和町・市図書館前バス停下車すぐ
- \* サンクリスタル高松共用駐車場あり、最初の1時間まで無料（受付で駐車券を来館証明機に通す必要あり）

<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kosodate/bunka/kikuchikan/index.html>

